

## 愛知県議会議員

— 自民党1期 —

### 神谷和利



自民党県議団では、愛知県産木材の利用促進に関する政策条例を私も含め10名のメンバーで検討しています。その目的は伐採期を迎えた人工林の利用を促進し、林業・木材産業の振興、森林の多面

昭和36年1月2日生まれ。愛知県議会議員。豊田市柿本町3-34。愛知県議会議員。豊田市農林水産委員会副委員長。同人会。豊田市少福社特別委員会。自民党愛知県第11選挙区副支部長。元豊田市議会議員。愛知県森林協会理事。豊田市少林寺拳法協会会長。ボーイスカウト豊田地区副協議会長。

## 地産木材利用で木質化都市を

的機能の発揮、脱炭素社会実現に向けての貢献をすることにあります。同様の条例は既に18県で制定されていますが、その大半は林業県です。愛知県の最大の特徴は、生産地である山間部と大消費地

ある都市部を抱えていることであり、「都市の木造・木質化」を図る時代の趨勢は「一気にウッドチェンジ」へなっています。

から前倒して譲与開始されており、自治体ごとの配分額は私有林人工林面積、林業就業者数、人口で案分されます。使途は間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等とされています。

る「森林づくり」都市づくりを進めることはそこに住む「人づくり」にも通じる」という基本理念を強く引き継ぎます。また国においても「公共建築物木材利用促進法」を改正し、公共建築物だけでなく対象を民間建築物にも拡大する検討がされていると聞きます。

めざるのか。理由の一つは、令和6年度から国民一人年額1千円が課税される「森林環境税」と、その税収の全額が県・市に還元される「森林環境譲与税」です。森林環境譲与税については、令和元年

県条例制定は、この使途を後押しします。私たちが検討している条例の骨子は、木材利用促進に関する基本計画を定めることとしており、令和元年に開催された第70回全国植樹祭愛知県大会にお

時代の趨勢は「一気にウッドチェンジ」に向かっています。課題は需要と供給のバランスが取れた適正な木材価格です。県条例に基づく施策により、民間建築物の木造化への支援強化を期待します。